

令和元年9月市議会定例会
副市長認定議案説明

[説明者；樋口副市長]

認定第1号 平成30年度長野市各公営企業会計決算の認定についてのうち、私から、長野市産業団地事業会計及び戸隠観光施設事業会計の決算の概要につきまして、御説明申し上げます。

初めに、長野市産業団地事業会計決算の概要について申し上げます。

お手元の「認定議案」の15ページを御覧いただきたいと存じます。

収益的収入及び支出のうち、収入の産業団地事業収益につきましては、予算額9億2,700万円に対しまして、決算額は5億9,940万3,434円となりました。

また、支出の産業団地事業費用につきましては、予算額7億900万円に対しまして、決算額は4億3,066万6,435円となり、この結果、17ページの損益計算書に記載のとおり、1億6,873万6,999円の純利益が生じたところであります。

16ページを御覧ください。

次に、資本的収入及び支出について申し上げます。

資本的収入につきましては、予算額4,800万円に対しまして、決算額は0円となりました。

また、資本的支出につきましては、予算額7億3,300万円に対しまして、決算額は4億8,413万4,119円となりました。

この結果、4億8,413万4,119円の不足額が生じたところであります。

この不足額につきましては、過年度分損益勘定留保資金から3億1,408万6,779円、当年度損益勘定留保資金から1億7,004万7,340円を補填いたしました。

次に、長野市戸隠観光施設事業会計決算の概要について申し上げます。

177 ページを御覧いただきたいと存じます。

収益的収入及び支出のうち、収入の観光施設事業収益につきましては、予算額 8,310 万円に対しまして、決算額は 8,450 万 3,859 円となりました。

また、支出の観光施設事業費用につきましては、予算額 1 億 2,024 万 5 千円に対しまして、1 億 1,629 万 3,645 円となりました。

この結果、178 ページの損益計算書に記載のとおり、収入支出決算額から、それぞれ消費税及び地方消費税を除きまして、2,973 万 5,323 円の純損失が生じたところであります。

この当年度純損失に前年度からの繰越欠損金 6 億 3,114 万 2,314 円を合わせた、当年度未処理欠損金 6 億 6,087 万 7,637 円は、全額、翌年度繰越欠損金として処理するものでございます。

もう一度、177 ページを御覧ください。

次に、資本的収入及び支出について申し上げます。

資本的収入につきましては、予算額 1 億 4,995 万 5 千円に対しまして、決算額は 1 億 4,797 万 1,244 円となりました。

資本的支出につきましては、予算額 1 億 4,995 万 5 千円に対しまして、決算額は 1 億 4,803 万 5,244 円となりました。

この結果、6 万 4 千円の不足額が生じたところであります。

この不足額につきましては、過年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額から、全額補填いたしました。

以上、平成 30 年度 長野市産業団地事業会計及び戸隠観光施設事業会計の決算の

概要について御説明申し上げましたが、詳細につきましては、各会計の決算報告書のほか、損益計算書、剰余金計算書又は欠損金計算書、剰余金処分計算書(案)又は欠損金処理計算書、貸借対照表、事業報告書及び財務諸表附属明細書を御参照いただきたいと存じます。

何とぞ十分御審議の上、御認定を賜りますようお願い申し上げます。